プラス思考で「今だからできること」に挑戦

この臨時休業は、誰にとっても初めての経験ですが、家庭での自由な学習、家族とのふれ合い、ウェブ学習など、今までとは違った生活や自由な学習の中で、新たな気付きや興味を見つけた人もいるでしょう。

そこで今回は、３年生家庭科「生活の課題と実践」に取り組み、素敵な気付きのあった一人の生徒の振り返りを紹介します。

緊急事態宣言が出てから、世の中では「おうち時間」を利用して料理をする人が増えたと思います。料理といっても、パンやクッキーケーキなど、代表的な「お菓子」系を作る人が多いのではないでしょうか。普段使わないHMなどを求めて買い物に出かける人は明らかに増えたはずです。それに疑問を感じました。

いつも使っている調味料や材料は、いつもなら「時間がなくて･･･」と省いてしまう工程などもこなし、さらにひと手間加えることで、また違った達成感などを味わえると思います。外出自シュク要請が続く中、家にないからと言って結局スーパーに行ってしまう、一度に大量の材料を使うお菓子作りを毎日しているという人にも、「通常」にひと手間プラスして、いや、いつも使う「家によくある材料で」作る新しいレシピを作って欲しい！と思いました。

そこで私がまずやってみよう！と思い実践しました。両親が忙しく、昼食「カップラーメンだけどゴメンネ！」と言っていかなくて済むような、「夜ご飯こんなのだけど」なんて言葉が聞かなくていいように、始めた休校中の料理は、休日は両親とのコミュニケーションに、仕事の忙しい日は食事が家族の団らんになりました。怒られることも多かったですが、料理の難しさや楽しさを知るよい機会になりました。

そして両親への日々の大変さを知り、改めて感謝しました。「あたりまえ」の毎日はとても貴重なものだと感じたので、１日１日を大切に過ごしていきたいです。（３年生Kさん）

未曾有の出来事ですが、そんな中でも、しっかり自分のプラスに変えられる姿勢に感動です。（家庭科のA先生も、３年生のレポートを見て「涙が出そう」と話されていました。）

アイザック・ニュートンが万有引力の法則を発見したのは、ペストが流行して大学が休みになっていたときだそうです。新しい気付きや発見というのは、自由な時間をプラス思考で過ごすことから生まれるものかも知れません。